

2021年12月20日

報道関係各位

「京都世界水大賞 2022 年受賞団体が決定しました！」

特定非営利活動法人 日本水フォーラム（認定 NPO 法人、東京都中央区、代表理事：竹村公太郎）は、京都市及び世界水会議（仏 NGO、WWC：World Water Council）と共に、2020年4月より「京都世界水大賞 2022」を実施しています。公募及び審査の結果、今回の大賞受賞団体は、**インドの NGO「Pragati」（プラガッティ）** に決定しました。

授賞式は、2022年3月、第9回世界水フォーラム（セネガル・ダカール）の会場にて執り行い、受賞団体に賞金として200万円を贈呈します。

京都世界水大賞 2022 年

今回の選考では、「伝統と革新の調和」の京都にならない、「文化」と「コミュニティ」に寄与し、**持続可能な活動であるか**という点で審査を行いました。そして、京都市、日本水フォーラム及び京都世界水大賞選定委員会による厳選な選考の結果、水問題の解決のみならず、環境負荷の削減にも寄与する自然エネルギーを活用した取組みが評価され、インドの NPO「Pragati」が大賞に選ばれました。

募集期間：2020年9月7日～2021年4月30日

応募件数：23カ国 50件

受賞団体：Pragati（プラガッティ）／インド南オリッサ州コラプット地区

大賞賞金：200万円

協賛企業：ゴールドスポンサー：株式会社 CB

スポンサー：株式会社島津製作所、株式会社東京建設コンサルタント

オルガノ株式会社、五洋建設株式会社、川合鑿泉工業株式会社（順不同）



太陽エネルギーを利用した灌漑農業により、野菜や穀物の栽培が可能になった



ため池の水を太陽光発電で揚水する

京都世界水大賞とは

京都市、世界水会議及び日本水フォーラムが共催する国際的な賞です。途上国の水問題解決に向けて優れた活動を続ける草の根団体を顕彰する国際的な賞として、第3回世界水フォーラムが琵琶湖・淀川流域で開催された2003年に創設されました。以後、3年に1度開催される国際会議「世界水フォーラム」にあわせ、実施されています。

※世界水フォーラムとは

世界中の水に関する関係者が一堂に集い、水に関わる様々な問題への対処について議論

（参加者：各国元首・閣僚級を含む政府機関、国際機関・企業・NGO等）

3年に1度、国連「世界水の日」（3月22日）前後に開催

□ 主催：WWC（世界水会議※）及び開催国

※ 世界水会議

（水分野の専門家や国際機関の主導のもと 1996年に設立。国際NGO）



■この資料に関するお問合せ先：日本水フォーラム 村山・吉井・桑原（03-5645-8040
press@waterforum.jp）